

6ページから

だっただけです。子どもが不安な時に親が一番動揺しているなんて、自分が情けなくなりまし

た。さらに、被災地の人たちがとても粘り強く、辛抱しながら前向きな姿に感動をしました。

だから、『いつものお母さん』に戻り、まずは自分自身を、そして家族を安心させるのが最初にできること。そして、被災していない地域のみならずが全力で、日本がこんな震災なんかで負けてしまわないように、経済的にも社会的にも支えつづけること。

東北の人たちが立ち上がる時に「なんでも手伝うから」とドンと受けとめられるだけの力を保っていかねければと思っています。

◎震災をきっかけになにか変えたこと

節電を気にするよう

に。でも新聞によると、北海道から東北に送電するのには上限があるとのこと。じゃあ節電は意味がない?といういろいろ悩みました。そこで出した答えが「節約貯金」です。大きな額の寄付はできないので、自分が決めた節約をクリアしたら10円ずつ貯金箱に入れていきます。例えば

- ・お風呂を沸かしたら家族全員間をおかずに一気に入ってしまう。
- ・夜は全員リビングで過ごす。(照明を減らす)
- ・歩いて通勤するなど

こんなふうになると節約もやりがいが出て楽しくなってきました。貯金箱いっぱいになったら寄付していきます。

◆被災地周辺の様子を現地の人に聞きました。

「埼玉県羽生市」

計画停電が大変。電気を使いたいた時間帯に停電するので生活リズムがとれない。計画変更もたびたびあり高齢者は臨機応変に対応できない。若い人たちがあちこちへ出かけて買い占めしてしまうので、アクティブに動き回れないお年寄り

は物が買えない。「青森県弘前市」

震災当初は停電が一日半ほどあり、暖を取れないのが大変だった。一時は生鮮食品も手に入らず、特にパンと卵と牛乳と納豆が足りなかった。病院で一か月分もらう持病の薬を一週間分しかもらえなくなったが、ガソリン不足もあり、病院に通うのが大変。

「恵庭に避難していました」

恵庭に避難していた姉妹が、こわかった地震の体験を寄せてくれました。

●福島第三小学校一年(現在は台北日本人学校小2)むらかみあいみ

じしんのとき、学きゆうへいさでした。だからおかあさんとおうちであそんでいました。とつぜん大きなゆれがわたしをおそいました。わたしは、一人でじぶんのつくえの下にかくれました。いろんなしよつきがわたれた音がしました。わたしはその音をきいてなきだしました。やつとそとにでたらじしんがおそいました。でもそこで1さい9カ月の男の子がなかないでがんばっていたのを見てわたしがんばりました。そこに学校にいつてたおねえちゃんともだちがかえってきました。ともだちのいえでみんなとめてひなんしました。あれからなんかい小さいじしんがみんなをおそいました。一日たつたあさにも小さなゆれがおそいました。そのよる山がたにひなんをしました。そのつぎの日にいがたにひなんしました。そのつぎの日しごとでオーストラリアにいつたおとうさんがよるにかえつてきました。そのつぎの日にはっかいどうにいきました。そしてあぜんになりました。あの大じしんはわすれないとおもいました。



●村上遙南ちゃんといいみちゃん姉妹。作文ありがとう!

●福島第三小学校6年

(現在は台北日本人学校中1) 村上遥南

地しんが起こつた時、卒業式の練習を体育館でしてました。入場の練習を終わったつてみんなが着席した時、地しんが起きました。

新連載!

カメラマン湯山繁の写真教室

ペットをもっとかわいく撮ろう!

じぶんの家のペットのかわいさは飼主が一番よく知っているものです。でも、いざ写真を撮るとうまく写らない。そんな経験はだれにでもあるのでは?

ちょっとした工夫でいつもとちがう写真を撮るワンポイントを連載でご紹介します。

●レッスン1 「寝ているところを撮ってみよう」

動き回るペットを思い通りに撮るのはプロでも難しいものです。まずは寝ているところを撮ってみましょう。

いつもは怪獣のように動き回っているペットも寝ている時は天使



●右側がペランダで、カーテンに頭をつけて寝ている写真です。静かにそっと近づいてみましょう。

の顔になりますね。できるだけフラッシュは使わない方がいいのであるべく明るいところで寝ているときに撮影してみよう。でも、窓辺で寝ているときに撮ると逆光になって顔が暗くなってしまいます。フラッシュを使わず、カメラを近づけて画面いっぱい撮るといいですよ。とても自然な感じで、寝息も聞こえてくるような写真が撮れます。



●カメラマン湯山繁氏

『愛犬の友』(誠文堂新光社)など各種雑誌の撮影を担当。

写真展&撮影会案内

4月28日〜5月8日までアリオ札幌(東区北7条東9丁目)1Fアリオモールで写真展開催&撮影会(5月3・4・5日の3日間ペットハウステンデンアリオ店)。

こども注意報

